

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 1月19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300534
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム かたらい
所在地	鹿児島県鹿屋市笠之原町49番22号 (電話) 0994-43-219
自己評価作成日	平成24年11月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成24年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、母体である医療機関が隣接しており病状の変化等に対して早期対応が可能であり、医療面でも安心して生活を営む事が出来る。また、災害時には同医療機関と密に連携を図り応援などの協力体制も整っている。毎月災害時を想定した避難訓練を実施しており、職員をはじめ利用者様にも周知することにより危機管理対策に事業所全体で取り組みを行っている。

当事業所の理念に基づき利用者様一人ひとりの人権を尊重し利用者の想いを汲み取れるケアに取り組んでおり、馴染みの関係を築き毎日笑顔で過ごせるよう努めている。

利用者様と共に玄関等に季節の花を植えたり裏庭の菜園にてさまざまな野菜を育てみんなで食べる喜びを味わったり、ホールには利用者様手作りの季節に合わせた作品を展示して季節感を事業所全体で感じて頂けるような支援をしている。また、地域交流の一環として同町内会のイベントなどに利用者様を参加できるように計画を立て開かれた事業所づくりを目指しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは市街地の国道に面して建てられ、隣接する母体医療機関との連携は緊密であり、緊急時を含めて十分な支援体制が整っており、利用者や家族の安心につながっている。

○運営推進会議や地域の公民館からの情報を基に町内会の花見や敬老会への参加、保育園児や学童の訪問及び中学生の福祉職場体験学習の受入れなど積極的に交流を図っている。また、今後の計画として地域の小学生の職場体験学習受入の働きかけや保育園の行事への参加なども検討されており、積極的に地域との交流を拡げていく取組みが見られる。

○管理者は職員の意見や提案を会議や日常のミーティングと共に、日常頻繁に声かけを行い、話しやすい雰囲気作りに努めて積極的に収集し、チームワークを何より大切に職員と一体となってサービスの向上に努めている。

○管理者及び職員は良好なチームワークのもとで、利用者の思いや意見を日常会話や表情の見守りで把握に努めると共に、ご家族とは年2回の家族会や訪問時に話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂いている。得られた要望や意見は連絡ノートで職員が共有し、必要な場合は対応を迅速に話し合い、速やかに本人や家族に報告してサービスに具体的に反映させている。

○年1回は消防署の協力を得ながら、利用者や近隣住民と共に夜間想定避難訓練を実施すると共に、職員が当番制で毎月避難訓練を計画的に実施している。これらの実施記録は反省点も含めてきめ細かく整備され、利用者の安全確保に十分に反映できるように取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型のサービスの意義を理解しその人らしい生活を守り寄り添うケアを理念として掲げ実践してる。	職員の話し合いで作成した事業所の理念に沿って、利用者が地域の中でその人らしく暮らせるように、利用者寄り添うケアを目指して日々の支援に取り組んでいる。理念はホールに掲示し、ミーティング等を通じて理念の理解を深めるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の花見、敬老会には毎年利用者様全員参加し交流を深めている。日常的には、隣接住民から季節の野菜や果物頂いたり食事やおやつを食べて頂いたりと交流を図っている。	運営推進会議や地域の公民館からの情報を基に町内会の花見や敬老会への参加、保育園児や学童の訪問及び中学生の福祉職場体験学習の受入れなど積極的に交流を図っている。近隣の方々から野菜の差し入れもあり、ホーム周辺の散歩や外気浴の際には近所の人々と親しく挨拶や会話を交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	利用者と共に近くを通られる住民の方には挨拶や声掛けイベントを計画し地域の方を招待して交流を深めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月のかたらい便りを配布し利用者の状況や行事等の活動等の報告を行っている。委員の方からは内容の感想やアドバイスを頂きサービス向上に活かしている。	会議は町内会長・老人会長・消防団長・地域包括センターや行政の職員・地域住民代表・家族代表・利用者など多くの参加があり定期的に開催されている。利用者及びホームの現況報告や行事・課題等について活発な意見交換が行われ、日々のサービス向上に役立てると共に、地域の行事への参加の実現や防災訓練・地域の小学生との交流に関する助言も得られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議等の出席時かたらい便りを配布し、日常の様子や取り組みを伝え事故防止対策等のアドバイスを頂いている。	市担当者には毎回の運営推進会議やホームの行事に出席して頂くと共に、各種の手続き時の訪問や電話での報告および相談事項に対して適切に助言・対応して頂くなどの連携を図り、協働してサービスの質向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	立地上道路に面している為、ご家族の了承を得て入口に暗証番号式のカギを使用しているが、午前中は解放しセンサー等で対応し安全面に配慮している。職員間では、勉強会を開催し拘束しない取り組みを検討している。	言葉による拘束の排除を含む身体拘束については、勉強会も計画的に行うと共に、法人全体での研修も年2回実施され、十分な理解への取り組みとケアへの反映がなされている。ご家族とも意見交換を行い、玄関は道路に面しているために、センサーや暗証番号付きのカギで対応するなど、安全を確保しながら利用者の自由な暮らしを支援するための工夫に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	かたらい会議を利用し、勉強会を開催し虐待について学び日々のケアを振り返り見過ごさないよう注意を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	かたらい会議の中で勉強会を開催したり、研修会に参加し研修内容を話し合い共有し職員の意識づけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結・解約又は改定などの際は、同医療機関相談員と2人で面会し、説明を行い理解・納得して頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会簿に要望記入欄を設けたり、面会時には職員全員で声をかけ、何でも話せる雰囲気づくりに心がけている。運営推進会議等でご家族の意見を反映出来るよう取り組んでいる。	利用者の思いや意見を日常会話や表情の見守りで把握に努めている。ご家族とは年2回の家族会や訪問時に話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂いている。また、面会簿には要望記入欄を設ける工夫も行い、得られた要望や意見は連絡ノートで職員が共有し、必要な場合は対応を迅速に話し合い、速やかに本人や家族に報告してサービスに具体的に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月かたらい会議の中で、職員が日頃気付いた点や要望を話し合い上司に報告し職員の処遇改善に努めている。	管理者は休憩時間や申し送り時のミーティング、毎月の「かたらい会議」で職員の意見や提案を聞き取ると共に、特に新入職員に対しては日常頻繁に声かけを行い、話しやすい雰囲気作りに取り組んでいる。また、必要に応じて個別面談も実施するなど、日頃よりチームワークを何より大切にしてサービスの向上の実現に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人一人の状況の把握に努め、技術、能力の向上を目指せるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員全員が研修を受ける事が出来るように計画を立て、各自のスキルアップにつながるように進めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同系列に3つのグループホームがあり2カ月に1回会議を開催し意見交換の場を作りよりよいケアの取り組み、サービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前のアセスメント時、病歴、生活歴を聴き取り本人の意向、要望を確認し職員にアセスメント表等により周知させ安心した生活を送れるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前のアセスメント時本人の要望と共に家族の想いに耳を傾け不安な事に対する解答を早く届け安心して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期面談時何を必要としているのか見極め福祉用具の購入希望時は業者との間に入りアドバイスをしたりしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩である事を常に念頭に入れ尊敬し寄り添い共に生活する事を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のかたらい便りを通して生活の様子を細かくお知らせし家族と共に幸せを願い叶えるように努力する。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時居室でゆっくりと過ごして貰っている。 要望などに対し出来る限り応え希望を叶えている。	入所時の聞き取りやご家族の来訪時に利用前の情報を把握し、本人が希望する商店での買い物・美容室・墓参り・一時帰宅などを、ご家族とも調整して可能な限り支援に努めている。また、家族や知人との電話や手紙の取り次ぎ、来訪時には居室やリビングでゆったりと過ごせるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲のいい人同士、もめ言が起らない人同士、同じテーブルに座って頂きトラブルがないよう仲良く過ごして頂けるようにする。レクリエーション等を通してお互いに支え合える環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療機関へ入院された方や他の施設に移動された方には来訪している。家族から相談があった場合は親身になって相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の訴えやケアプランの見直し時希望や意向を聞いたり訴えが困難な方は生活の様子を職員間で話し合い本人本位のケアにつながるよう努めている。	日常会話や表情・所作から思いや意向を把握するように努め、担当職員が記入する日誌や連絡ノートで情報の共有を図り、必要な対応を職員で話し合い利用者本位の支援に結びつくように取り組んでいる。ご家族ともどのように暮らすことが最良であるか意見交換して実現に向けて努力を重ねている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前アセスメント時生活歴を聴き取り入所してからも些細な会話等から状況把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	活動チェック表をつけて出来ることの把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン見直し時サービス担当者会議により本人、家族と意向の聞き取りを行い担当者を含めた話し合いにより、よりよい介護計画作成に努めている。	介護計画は、本人・家族の意向や希望、関係者からの情報を基にして、きめ細かなわかりやすいものを作成している。ケアの経過は日々の状況を項目設定された「活動状況」に記録されており、それを基に介護計画の見直し修正が適宜かつ適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、経過記録としてその日の担当者が記入し全職員で情報共有に努めている。また、朝のミーティングや連絡帳なども活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時に必要なサービスを見極め柔軟に対応できるよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	家族への連絡を密にし、本人の心身の支えになるようまた、地域住民との交流を計画し暮らしを楽しめるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同敷地内の病院がかかりつけ医なので定期的受診緊急の受診にもすぐに対応出来家族本人共に安心した環境である。	同一敷地内の母体医療機関がかかりつけ医であり、2週間に1回職員同行で定期的受診できている。家族や医師との連携も密に図られ、緊急時にも適切な医療が受けられる状況である。また、専門医の受診も本人や家族の意向に沿って適切に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	バイタル異常者や体調不良者などはすぐに連絡してDrに報告し指示を貰っている。また、転倒等があった時も隣接の医療機関へ受診して検査等して頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換や相談に努め、隣接の医療機関ではナースやDrと情報交換し安心して治療できるように行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時は隣接の医療機関Drへ相談して利用者の今後について話し合いの場をもち、入所時に終末期の対応について説明している。また、同グループの施設での連携についても説明している。	重度化や終末期のケアについては、「かたらいの看取り介護指針」を基に、入所時に本人やご家族に十分説明して同意を得ている。様々な変化の都度、医師やご家族と十分に話し合い、隣接する母体病院や同一グループの特別養護老人ホーム等との連携で重度化に対応できる体制を築いている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員に普通救命講習を受講させている。緊急時は隣接内科との連携により早期に対応出来る体制を整えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月、全職員が順番に担当となり訓練している。年1回は消防署の立ち入り訓練も実施、近所の方の応援も頂いている。</p>	<p>年1回は消防署の協力を得ながら、利用者や近隣住民と共に夜間想定避難訓練を実施している。また、職員が当番制で毎月避難訓練を行っている。これらの実施記録は反省点も含めて細かく整備され改善に活かされている。スプリンクラーの設置や食料・飲料水・必要備品等の備蓄をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人をよく知り、その時々 の気持ちを理解する事に努め、 その方に合った優しい声掛けが 出来るようにしている。	日常の暮らしの中で、利用者の誇りや プライバシーを損ねないように、丁寧 な声かけや対応を心掛けている。入浴 や排泄のケアに際してはもとより、利 用者の個人記録や居室の保護に関し ても徹底した配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表 したり、自己決定できるように働きかけ ている	その方の思いや希望をしっかり 、じっくり聞く事に努め、よい 方向へ自己決定出来るように している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切 にし、その日をどのように過ごしたい か、希望にそって支援している	一日の流れに沿って生活をされ ているが、その時々気分や体 調を一人一人把握する事で、こ の希望に応じられるように している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれが 出来るよう支援している	衣類購入希望などあった時は、 店へ一緒に同行し、買い物を楽し んだり、訪問理容にて髪を カットしたりして支援してい る。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利 用者と職員と一緒に準備や食事、片付け をしている	旬の食材を多く活用したり、料 理の下ごしらえや保存食など手 伝いを貰っている。 体調を見て職員と一緒に片づけ をしたりしている。	日常会話で把握できた好みを献立に反 映させ、とろみやきざみ食、更には旬 の食材の活用や外食・手作りのおやつ 等の工夫を行っている。また、菜園で の野菜の収穫や下ごしらえ、食卓の準 備・後片付けなどの一連の流れを利用 者と共に行い、食事を楽しみながら行 う雰囲気作りに努めている。管理栄養 士による定期的な評価・アドバイスも 活用してよりよい食事の提供に努めて いる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月の食事摂取量や水分量をチェックし健康状態の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを促し個々の能力に応じた支援を行い清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の自立困難者は排泄チェック表にて排泄パターンを把握して排泄の失敗をなるべく少なくし自立支援を行っている。	利用者の様子観察や排泄チェック表の活用により利用者個々のリズムを把握して、可能な限りの援助方法を検討して排泄の自立のための支援を行っている。周りにも配慮した言葉かけやカーテンの活用など、羞恥心や不安の軽減にも十分配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は野菜類を多くし、運動を促したり、便通を整えるが、それでも便秘がちな利用者は緩下剤で調整し便秘予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は曜日を決めて対応しているが、個々のプライバシーを守り、気持ちよくゆっくり入れるようにしている。希望時や汚染時等はすぐに対応できる体制を整えている。	利用者の健康状態に配慮しながら、場合によっては清拭や足浴・シャワー浴に変更することやシャンプーなどは個人の好みに合わせるなどの対応を含め、ゆったりと安心して入浴できるように支援している。入浴は個別に行われ、2重のカーテン使用でプライバシーの保護や羞恥心に対する配慮をおこなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	常に利用者の方の状態や体調を把握し、安心して眠れるように、室温調整や寝具調整など細めに支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	バイタル表をチェックし内服支援をしている。スタッフ間での話し合い、医療機関への連絡等で症状の変化を報告し確認頂いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑仕事を得意としている利用者には、野菜作りを手伝って貰ったり教えて貰ったりまた、ビーズ細工や編み物を趣味としている利用者には材料をそろえて楽しんでもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節の移り変わりなど目で確かめて頂けるようホーム近辺の散歩やドライブなどを実施している。普段は、行けないような場所は1日遠足として家族会を計画し協力を得たり地域行事にも参加している。	菜園の近くにはベンチが設置され天気の良い日は外気浴や庭でのお茶会が行われている。日常的にはホームの周辺の散歩のほか、本人の希望に応じて花屋や手芸店への買い物にも出かけている。また、地域のイベントへの参加や月に1回は計画的にドライブを兼ねた外食や季節の花見、年1回は家族会に合わせての1日遠足など、可能な限り楽しく外出できるように工夫・支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いを預かり不足品や日用品を購入している。また必要な買い物や欲しいものがあれば一緒に買いに行ったり行けない利用者はすぐに対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	自分で電話したいと申し出があった時はいつでも支援している。また本人が出来ない時はご家族からの電話をお願いしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先や周りには季節を感じる花をいっぱい植えホールには大きな手作りカレンダーが貼ってありまた壁には四季を感じさせる大きな貼り絵を工夫しながら数多く飾られている。	ホームの玄関には季節の花が植えられており、利用者が多くの時間を過ごすホールにはソファやテーブルが配置され、季節を感じながら居心地よく過ごせるように花飾りや貼り絵・行事の写真等を掲示している。利用者にとって不快に感じる音や匂いなども感じられず、自由に気持ちよく過ごせるように配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室には、使い慣れた装飾品や家族写真等を貼って居心地よく過ごせるようにしている。気のあった方同士が座れる様に空間は設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時家にある使い慣れたものや道具等を持ち込んでもらいご本人の居心地のよい空間で生活して頂いている。</p>	<p>居室には事業所が準備したベッドやタンス・エアコンのほかに、利用者が使い慣れた時計や椅子・写真・日用品などが置かれて、本人のペースで日常居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>残存機能を残して出来るだけの事は協力をもらい安全で自立した生活が送れるよう工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない